

LUCKY

2005.2

第35期 事業報告書

平成16年3月1日から平成17年2月28日



LUCKY

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ: 2747

株主の皆さまへ ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より当社の経営につきまして特段のご理解とご厚情を賜わり、有難く厚く御礼を申し上げます。

当社は創業以来、一貫して地域のお客さまに愛されるお店づくりを目指し、皆さまの食卓をより美味しく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。

しかしながら、最近の流通小売業をとりまく環境は、デフレからの脱却が進まぬなか、所得の低迷、社会保障の負担増などにより個人消費の不振が続いております。

こうした厳しい状況のなかであります。当社はスーパーマーケット本来の使命である、鮮度の良い商品をより安くご提供することに加え、当社の特色であります味や品質にすぐれた商品、付加価値の高い商品にも力を注ぎ、品揃えの充実を図ることとし、お客さまへ豊かな生活をご提案してまいりたいと念願しております。

また、厳しい競争を勝ち抜くため後方支援となる物流体制や集中パッケージセンターなどの充実にも積極的に取り組み、オペレーションコストの削減に努めてまいります。

社会構造が大きな変化をとげるなか、お客さまの多様なニーズにお応えできる企業を目指し、役職員一同一層の努力を重ねてまいり所存でございますので、株主の皆さまにおかれましては今後とも変わらぬご支援を賜わりますよう、お願い申し上げます。



北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長

桐生 泰夫

昭和46年4月、食品の小売および卸を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。昭和49年5月、商号を株式会社山の手ストアと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、昭和57年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩町(現石狩市)、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市、栗山町、長沼町、網走市、さらに紋別市と営業エリアを広げ、営業店舗数は、現在(平成17年2月末)35店を数えます。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客さまに感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一步先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。

店舗網
(平成17年2月末現在)

営業店舗合計 35店

食料品・衣料品共同店 22店
食料品単独店 5店
衣料品単独店 8店

栗山店
長沼店
千歳錦町店
朝里店

シティ稚内店
(平成17年9月開店予定)

シティもんべつ店

シティえんがる店

シティびほろ店

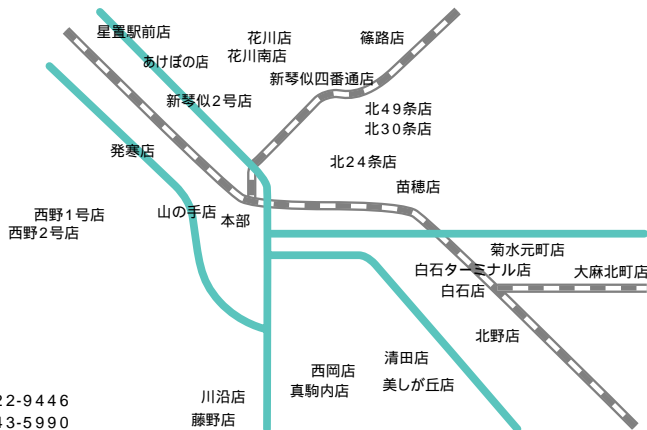
シティあばしり店

札内店



新店「シティもんべつ店」の青果売場

札幌市近郊店舗分布



[食料品・衣料品共同店]
[食料品単独店] [衣料品単独店]

本 部 〒060-0011 札幌市中央区北11条西19丁目36番35号
☎011-643-3233

デリカセンター 小樽市
生鮮センター 札幌市中央区

関連会社

エル食品(株) 札幌市中央区北11条西19丁目36番35号 ☎011-622-9446
(株)アップル 札幌市中央区北11条西19丁目36番35号 ☎011-643-5990

オペレーションコストの削減。

生鮮センターを稼働



クリーンな環境で製造される「お刺身盛合せ」のバック

平成16年5月より精肉・鮮魚の全商品を対象として、「集中供給センター」を新たに稼働いたしました。現在札幌市内の15店舗に供給を行っておりコスト削減に寄与しております。平成17年度も供給高の拡大を計画しており、店舗タイプに合わせた供給体制を整えつつあります。店舗での品揃えや鮮度の維持向上を図りつつ、最終的には人員の削減に結びつけることが目標となります。

一括配送体制を強化。

物流センターの規模拡大

平成16年10月より物流センターの移転と規模拡大に伴い、従来からの取扱品目に加え新たに酒類や衣料品を一括配送体制へと変更いたしました。これによりグロサリー品の単品大量仕入への対応を可能とするなど効率のアップと収益の確保が図られました。また冷蔵設備も完備され、一部チルド商品の取扱いも可能となりました。平成17年度計画では取扱仕入高のおよそ50%がセンターを経由することとなります。



石狩市新港に新たに稼働した物流センター

低価格を強力訴求。

EDLPの展開



EDLPコーナー

「豊富な品揃え」、「付加価値商品の提供」を堅持しつつ、お客様へ「安さ」をアピールする新たな売場づくりとして全店に波及させました。

「いつでもお買得！」を合言葉に、日常生活のベーシックアイテムをいつでも低価格でご提供しよう、という意味のエブリデーラッキープライス。

店頭ではその頭文字をつないだEDLP商品として強く打ち出す陳列を発寒店からはじめました。お客様からは大変好評で、今では全店でこのEDLPを展開しております。当社の、美味しさやクオリティ訴求のカテゴリーと並行して、この低価格路線も、バランス良く、今後とも堅調に発展させていきたいと思っております。

安全衛生管理室を設置。

各種の検査・調査を強化

当社は既に平成12年3月より安全性検査のため、商品検査室を設置しておりましたが、平成14年3月に安全衛生管理室として格上げし、商品の細菌検査・拭取検査はもちろん調理器具設備等の細菌検査や従業員に対する衛生指導の充実を図っております。また、商品表示マニュアルを全面的に見直して、時代の要請である正しい商品表示の励行に努めており、安全衛生面でのストアーロイヤリティの向上を目指しています。



細菌検査中のスタッフ

大腸菌、腸炎ビブリオ菌、ブドウ球菌などの判定を行い、年間約2,000検体の細菌検査を実施しています。

当期の概況

営業の状況

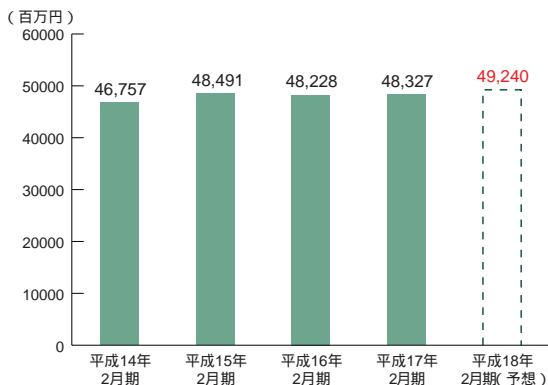
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善、民間設備投資の増加、輸出の拡大等、景気回復に幾分明るい兆しが見られました。しかしながら個人消費につきましては、公的年金の負担増や配偶者特別控除の廃止などにより将来への不安要因が拭えず、依然として厳しい状況のまま推移いたしました。こうした状況のなか、「スーパーマーケット事業部門」におきましては、競合各社への対抗策として低価格を強調したEDLP(エブリデー・ラッキー・プライス)売場の拡大を図るとともに、チラシ作成の面でも価格訴求を中心とした紙面づくりを実施、9月以降は「味の逸品」「健食同源」などの取組商品をアピールするほか、価格に力点をのいた総力祭を実施するなど、販売促進の強化により売上高の確保に努める一方、仕入コストや経費の徹底した削減に取り組んでまいりました。新たな設備といたしましては、5月より精肉・鮮魚の集中供給を行う「生鮮センター」を立上げ、8店舗への供給を開始し、10月には物流センターの拡張に伴い一括配送体制の強化を実施し、単品大量仕入への対応を可能とするなど、オペレーションコストの削減や利益確保の体制づくりに努めてまいりました。新規店舗では6月に北海道紋別市にショッピングセンター「シティ

もんべつ店」を開店し、順調に推移いたしました。この結果、当連結会計年度の売上高は47,909百万円(前連結会計年度比100.2%)、営業利益は727百万円(前連結会計年度比115.1%)とわずかながらも増収増益となりました。

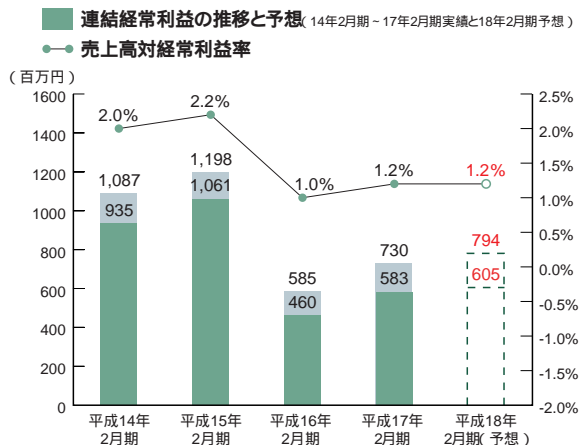
「その他の事業部門」におきましては、エル食品(株)TSU-TAYA FC店では店舗の活性を図るべく売場構成の見直しと積極的な商品入替えを実施いたしました。競合激化の状況もありわずかながら減収となったこと、また(株)アップルにおきましては、主たる取引先である建設業界が公共事業削減による不況が続いていることなどにより契約件数が減少したこと、重点施策とした自動車保険、医療保険の新規獲得も計画に至らなかったことなどにより大きな減収となり、売上高合計は417百万円(前連結会計年度比95.6%)、営業利益は5百万円(前連結会計年度は46百万円の営業損失)となりました。

両事業部門を合わせまして、当連結会計年度の売上高は48,327百万円(前連結会計年度比100.2%)、営業利益は730百万円(前連結会計年度比124.9%)、経常利益は583百万円(前連結会計年度比126.6%)、当期純利益は300百万円(前連結会計年度比261.1%)とわずかながらも増収増益となりました。

■ 連結売上高の推移と予想 (14年2月期～17年2月期実績と18年2月期予想)



■ 連結営業利益の推移と予想 (14年2月期～17年2月期実績と18年2月期予想)



次期の見通し

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気の回復が期待されておりますが、企業をとりまく環境は社会保険料の負担増、外形標準課税導入による実質増税、減損会計の強制適用など依然として厳しい状況と言わざるを得ません。また、個人消費につきましても長引く所得の低迷に加え、税金や社会保障などの公的負担増が重なり、本格的な回復は見込めないものと思われま

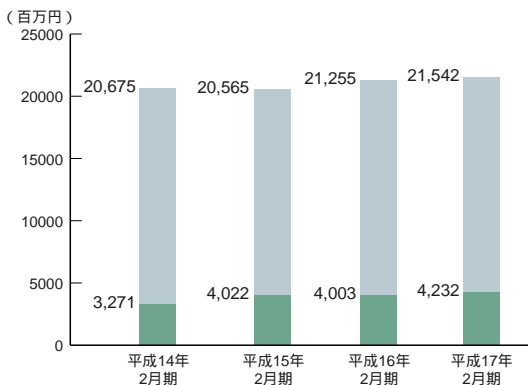
す。こうした状況のなか、当社グループは「営業力の強化」及び「ローコストオペレーションの構築」が最大の課題と捉えております。まず、「営業力の強化」の面では、EDLP(エブリデー・ラッキー・プライス)売場を継続する一方、生鮮部門を主体とし価格訴求による安さのアピールを積極的に実施し、売上規模の拡大を図ってまいります。第2に品質や品揃えの面では、商品検討委員会を新たに設置し、「美味しさにこだわる商品」「有機・減農薬青果物」「無添加商品」「健康食品」などの導入を検討し、売場を実現させてまいります。「ローコストオペレーション」の面では、生鮮センターによる供給拡大、売場適正尺数の見直しなどにより、商品ロスの未然防止や作業効率の改善を図るとともに、社員のスキルアップ、パート

イマーの技術向上教育の充実により労務コスト削減に努めてまいります。また、当社グループではお客様の「食」の安全・安心というご要望にお応えするための取組みを強化してまいります。具体的には産地表示、添加物表示、アレルギー表示の徹底を図ることは勿論のこと、安全衛生管理室による商品検査、クリンリネス管理の徹底、社内一斉に行う表示検査の強化に努めてまいります。当社グループはこうした重点政策を推進することと同時に、財務改善の観点より引き続き堅実な設備投資を遵守することとし、営業基盤の強化と業績の向上に努めてまいり所存であります。なお、平成17年度の設備投資につきましては、4月に札幌市内の新琴似四番通店を、5月には同じく発寒店をそれぞれ改装する予定であります。新規店舗といたしましては、9月に北海道稚内市に「シティ稚内店」を開店する計画であります。

次期の連結見通しにつきましては、売上高は49,240百万円(前連結会計年度比101.9%)、経常利益は605百万円(前連結会計年度比103.7%)、当期純利益は331百万円(前連結会計年度比110.3%)を見込んでおります。

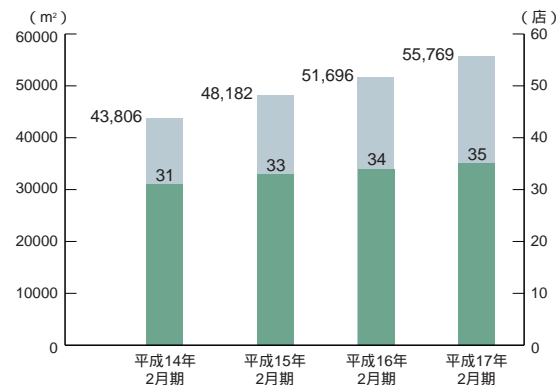
■ 連結総資産の推移 (14年2月期～17年2月期実績 4期分)

■ 連結純資産の推移 (14年2月期～17年2月期実績 4期分)



■ 期中平均売場面積の推移

■ 期末店舗数の推移



財務諸表（連結）

連結貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	平成16年2月29日 現在	平成17年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	6,334,295	6,392,465
現金及び預金	3,744,636	3,760,749
受取手形及び売掛金	187,349	176,869
たな卸資産	1,810,930	1,857,361
繰延税金資産	91,307	105,592
その他	500,394	492,161
貸倒引当金	322	269
固定資産	14,921,297	15,150,393
有形固定資産	10,453,065	10,805,072
建物及び構築物	3,579,734	3,875,300
車輜運搬具	3,236	2,036
土地	6,656,677	6,801,043
建設仮勘定	70,546	6,208
その他	142,871	120,482
無形固定資産	27,177	26,182
投資その他の資産	4,441,053	4,319,138
投資有価証券	275,326	347,360
繰延税金資産	384,310	376,732
差入保証金	3,494,320	3,363,972
その他	296,056	239,973
貸倒引当金	8,960	8,900
資産合計	21,255,592	21,542,858

Point

1 総資産

新店に伴うたな卸資産の増加、新規出店建物と出店予定地取得に伴う土地などの固定資産の増加により、総資産は前連結会計年度に比べ2億87百万円増加いたしました。

単位:千円

科目	前期	当期
	平成16年2月29日 現在	平成17年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	10,910,246	11,226,221
支払手形及び買掛金	3,583,492	3,111,533
1年以内償還予定の社債		600,000
短期借入金	4,820,460	5,446,138
1年以内返済予定の長期借入金	1,315,391	824,794
未払法人税等	104,201	192,859
賞与引当金	169,199	165,665
その他	917,501	885,230
固定負債	6,342,250	6,083,981
社債	600,000	
長期借入金	4,126,334	4,468,660
繰延税金負債	77	4,096
退職給付引当金	740,782	729,101
役員退職慰労引当金	368,139	357,637
その他	506,918	524,486
負債合計	17,252,496	17,310,203
少数株主持分		
資本の部		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	465,258	465,258
利益剰余金	2,881,574	3,068,776
その他有価証券評価差額金	14,454	56,812
資本合計	4,003,095	4,232,655
負債・少数株主持分及び資本合計	21,255,592	21,542,858

Point

2 流動負債・固定負債

社債6億円は償還期限が一年以内となり、流動負債へ振替りました。また有利子負債の総額は前連結会計年度と比べ4億77百万円増加し、連結総資産に占める割合は1.5%上昇し52.6%となりました。今後とも堅実な設備投資に努めてまいります。

連結損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成15年3月1日～平成16年2月29日	平成16年3月1日～平成17年2月28日
売上高	48,228,422	48,327,447
売上原価	36,343,183	36,367,781
売上総利益	11,885,238	11,959,665
営業収入	928,284	979,626
営業総利益	12,813,523	12,939,292
販売費及び一般管理費	12,228,156	12,208,297
営業利益	585,366	730,994
営業外収益	108,823	83,616
営業外費用	233,246	231,161
・経常利益	460,943	583,450
特別利益	15,907	15,192
特別損失	194,609	13,175
税金等調整前当期純利益	282,241	585,467
法人税、住民税及び事業税	246,350	316,387
法人税等調整額	79,054	31,099
・当期純利益	114,945	300,179

Point

3 経常利益・当期純利益

当連結会計年度は、価格競争激化により売買利益率は低下いたしました。仕入コストの削減に努めたこと、配送体制強化により手数料収入が増加したこと、販売費及び一般管理費の削減に努めたことなどにより経常利益は26.6%増加し5億83百万円となりました。また当期純利益は、前連結会計年度において1億77百万円の特別損失を計上したことなどにより161.1%増加し3億1百万となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成15年3月1日～平成16年2月29日	平成16年3月1日～平成17年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	983,422	215,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	971,730	614,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,157	364,583
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	8,534	33,886
現金及び現金同等物の期首残高	3,156,101	3,164,636
現金及び現金同等物の期末残高	3,164,636	3,130,749

Point

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は215百万円(前連結会計年度比78.1%減)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が585百万円、減価償却費が380百万円であったのに対し、たな卸資産の増加が46百万円、仕入債務の減少が465百万円、法人税等の支払額が227百万円であったことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は614百万円(前連結会計年度比36.8%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が741百万円、差入保証金の増加による支出が29百万円であったのに対し、差入保証金の減少による収入が165百万円であったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は364百万円(前連結会計年度は3百万円使用)となりました。これは主に短期借入金の増加が625百万円、新規の長期借入金が1,200百万円であったのに対し、長期借入金の返済による支出が1,348百万円、配当金の支払額が112百万円であったことによるものであります。

財務諸表（個別）

個別貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	平成16年2月29日 現在	平成17年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	6,132,887	6,173,332
現金及び預金	3,669,785	3,663,256
受取手形	165	114
売掛金	185,197	174,612
商品	1,674,052	1,714,069
貯蔵品	33,735	31,314
前払費用	138,018	136,166
繰延税金資産	86,392	99,921
未収入金	316,664	341,906
その他	29,198	12,239
貸倒引当金	322	270
固定資産	14,992,956	15,163,830
有形固定資産	10,440,535	10,794,362
建物	3,426,392	3,644,640
構築物	145,070	223,086
車輜運搬具	2,411	1,486
器具備品	139,437	117,896
土地	6,656,677	6,801,043
建設仮勘定	70,546	6,208
無形固定資産	25,012	24,559
ソフトウェア	7,207	6,754
電話加入権	17,805	17,805
投資その他の資産	4,527,408	4,344,907
投資有価証券	261,972	324,810
繰延税金資産	384,384	376,762
差入保証金	3,432,994	3,302,646
その他	457,193	349,660
貸倒引当金	9,136	8,972
資産合計	21,125,844	21,337,162

単位:千円

科目	前期	当期
	平成16年2月29日 現在	平成17年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	10,874,880	11,158,292
買掛金	3,566,936	3,085,351
1年以内償還予定の社債	-	600,000
短期借入金	4,820,460	5,446,138
1年以内返済予定の長期借入金	1,315,391	824,794
未払金	513,129	511,425
未払費用	190,613	199,043
未払法人税等	104,201	165,459
未払消費税等	82,251	64,496
前受金	25,651	22,918
預り金	88,512	74,312
賞与引当金	167,732	164,352
固定負債	6,336,970	6,077,440
社債	600,000	-
長期借入金	4,126,334	4,468,660
退職給付引当金	739,356	727,858
役員退職慰労引当金	366,296	357,637
長期預り保証金	503,934	523,284
その他	1,050	-
負債合計	17,211,851	17,235,732
資本の部		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	465,258	465,258
利益剰余金	2,794,286	2,943,990
その他有価証券評価差額金	12,639	50,372
資本合計	3,913,992	4,101,429
負債・資本合計	21,125,844	21,337,162

個別損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成15年3月1日～ 平成16年2月29日	平成16年3月1日～ 平成17年2月28日
売上高	47,790,094	47,907,367
売上原価	36,193,443	36,273,360
売上総利益	11,596,651	11,634,006
営業収入	944,830	994,952
営業総利益	12,541,482	12,628,959
販売費及び一般管理費	11,955,046	11,956,569
営業利益	586,435	672,389
営業外収益	102,289	77,492
営業外費用	233,235	231,161
経常利益	455,489	518,720
特別利益	15,911	13,452
特別損失	194,205	11,520
税引前当期純利益	277,195	520,652
法人税、住民税及び事業税	246,104	288,982
法人税等調整額	78,515	31,012
当期純利益	109,606	262,681
前期繰越利益	16,868	13,594
当期末処分利益	126,474	276,276

利益処分

単位:千円

科目	前期	当期
	平成15年3月1日～ 平成16年2月29日	平成16年3月1日～ 平成17年2月28日
当期末処分利益	126,474	276,276
任意積立金取崩高	98	102
利益処分額	112,978	249,686
配当金	112,978	99,686
別途積立金	-	150,000
次期繰越利益	13,594	26,693

Point

1

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆さま方に対する利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけしており、企業体質並びに財務体質の強化を図るとともに、業績に応じまして安定的な配当を継続実施することを基本方針としております。

内部留保金につきましては、今後の新店舗建設や既存店舗の増改築などの投資に有効活用することとし、競争力の強化及び業績の向上に努めてまいります。

当期の株主配当金につきましては、当社をとりまく環境が依然として厳しい折から1株につき15円とさせていただきます。

シティもんべつ店が6月にオープン。道東地区へ

「シティもんべつ店」プロフィール

「シティもんべつ店」は食料品 + 衣料品 + テナント売場構成をとるSSM(スーパースーパーマーケット)店舗であり、売場面積は約1,200坪。

同敷地内には、ホームセンター「ホームマック紋別店」、ドラッグストア「ツルハ紋別店」が店舗をかまえ、大規模なショッピングセンターを展開しています。



開店を待つお客様の長い列



元気あふれる
黒崎店長

初夏を演出する
ファミリー衣料
コーナー



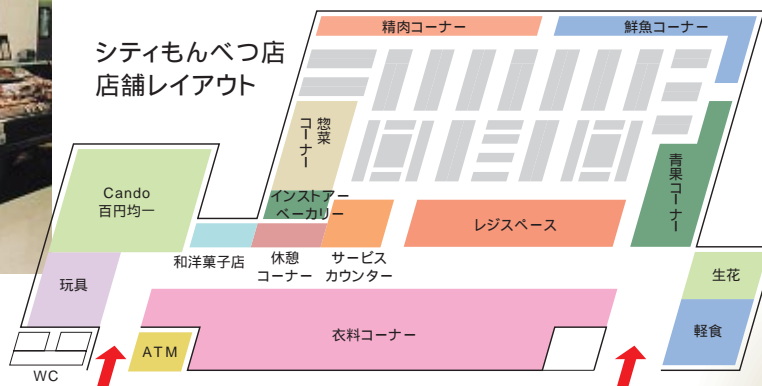
4店舗目の進出を果たす。



地元のお客様へもアピールできる鮮魚平ケースコーナー

豊富な品揃えが自慢の精肉コーナー

シティもんべつ店
店舗レイアウト



入口部分の青果コーナーの広さや、惣菜コーナーの広さが特徴となっております。

所在地	北海道紋別市渚滑(しょこつ)町1-2-1
立地	紋別市街地より約2km郊外に位置し、国道バイパス通りに面したロードサイドショッピングセンター。
総敷地面積	13,660坪
総床面積	当社SSM店舗 1,688坪 ホームック紋別店 1,842坪 ツルハ紋別店 249坪
総駐車台数	744台(うち当社SSM棟 247台)
目標売上高	平成17年度 23.5億円
総投資額	総敷地・自社建物を含め13.7億円
従業員数	社員25名 パートタイマー68名 (1日8時間換算)
商圈規模	15,600世帯 36,000人
開店日	平成16年6月30日

会社概要

設立	1982(昭和57)年5月10日	役員	代表取締役社長 桐生 泰夫
本社	〒060-0011 札幌市中央区北11条西19丁目36-35	取締役副社長	田中 嘉久
資本金	6億4180万円	専務取締役	井本 逸夫(生産性推進担当)
代表者	代表取締役社長 桐生 泰夫	専務取締役	鴻野 英樹(総務部長)
従業員数	正社員 533名 パートタイマー 1,668名 (1人8時間換算 月平均) 平成17年2月末日現在	常務取締役	早坂 征夫(開発部長)
営業品目	生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・ 日用雑貨・米・酒	常務取締役	川端 敏(経営企画室長)
		取締役	大澤 範貢(販売部長)
		取締役	岩間 拓(経理部長)
		取締役	山川 浩文(衣料部長)
		取締役	千葉 敬一(内部監査室長)
		取締役	後藤 扶美彰(人事部長)
		常勤監査役	成田 明弘
		監査役	堀 勝彦
		監査役	河谷 泰昌
		監査役	中井 実

沿革

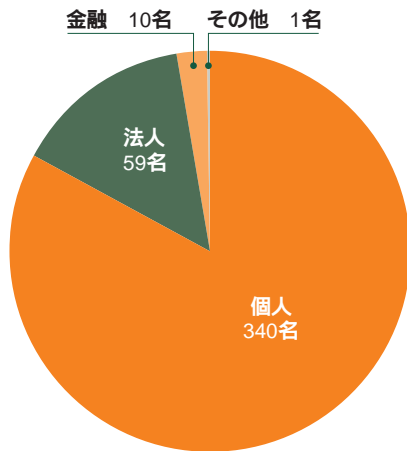
- 昭和46年04月 食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。
- 48年04月 本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。
- 49年05月 商号を株式会社山の手ストアに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。
同月、山の手店をはじめ、5店舗の営業を開始。
- 50年10月 札幌市東区に北49条店を開店。
- 51年10月 札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。
- 52年12月 札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。
- 53年10月 札幌市西区(現 手稲区)に手稲店(現 あげぼの店)を開店。
- 57年05月 株式会社まるせんと合併すると同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。同月、子会社、株式会社札幌総菜センターを設立し、惣菜・米飯・漬物類の製造販売業を開始。
- 58年07月 石狩町(現 石狩市)花川に花川店を開店。
- 59年06月 本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。同月、保険部門を設け、損害保険の代理店業務へ進出。
- 63年07月 小樽市新光町に朝里店を開店。小樽へ進出。
- 平成元年07月 本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。
同月、札幌市南区に川沿店を開店。
- 2年03月 POS(販売時点情報管理)システムを導入。
- 3年10月 石狩町(現 石狩市)花川に花川南店を開店。
- 5年09月 株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。
道東地区へ進出。
- 6年03月 千歳市錦町に千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。
- 6年04月 紋別郡遠軽町にシティえんがの店を開店。道東地区2店舗となる。
- 6年11月 子会社、エル食品株式会社を設立し、食品加工卸売業を開始する。
- 7年02月 保険部門を独立させ、子会社、株式会社アップルを設立。
- 7年05月 札幌市豊平区(現 清田区)に美しが丘店を開店。
- 8年03月 本格的にインスタアベーカーを手がけ、以後各店へ導入。
- 9年03月 山の手店を増床のうえ大幅改装し、新たなプロトタイプ店舗づくりに着手。
- 10年03月 夕張郡栗山町に栗山店を開店。
- 12年03月 網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。
- 13年03月 札幌市北区に新琴似四番通店を開店。
- 14年03月 中川郡幕別町に札内店を開店。
同月、安全衛生管理室を設置。
- 14年04月 札幌市手稲区に星置駅前店を開店。
- 14年10月 日本証券業協会に株式を店頭登録。
- 15年04月 夕張郡長沼町に長沼店を開店。
- 15年09月 札幌市西区に発寒店を開店。
- 16年05月 精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼働。
- 16年06月 紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。道東地区4店舗となる。
- 16年12月 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場。

株式の状況 (平成17年2月28日現在) JASDAQ: 2747

発行済株式の総数 6,645,770株

期末株主総数 410名(前期比 138名増)

所有者別株主数

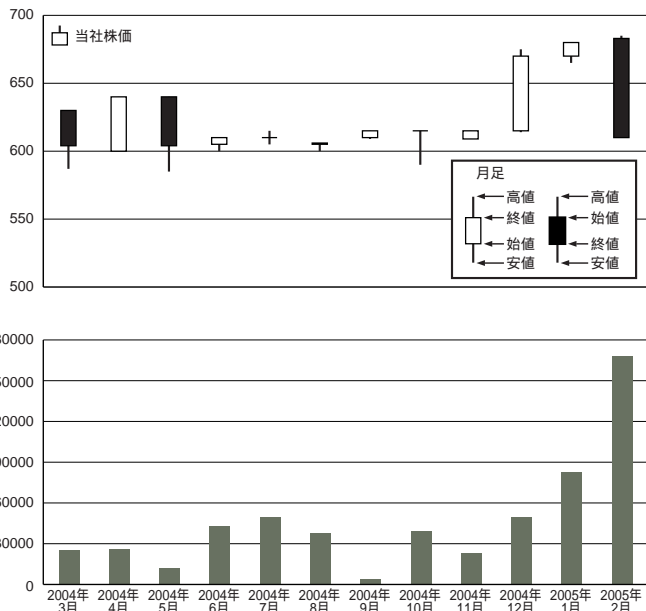


大株主の状況

株主名	当社への出資状況		当社の当該大株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(千株)	議決権比率(%)
桐生泰夫	1,255,000	18.89	-	-
田中嘉久	538,000	8.10	-	-
千葉敬一	451,000	6.79	-	-
株式会社北洋銀行	320,000	4.82	(注) -	(注) -
堀勝彦	240,000	3.61	-	-
有限会社まるせん商事	220,000	3.31	-	-
久保基彦	200,000	3.01	-	-
千葉幹治	180,900	2.71	-	-
北雄ラッキー社員持株会	180,000	2.71	-	-
千葉和夫	175,100	2.63	-	-

(注) 当社は、株式会社北洋銀行の持株会社である株式会社札幌北洋ホールディングスの普通株式153.5株(議決権比率0.04%)を所有しております。なお、株式会社札幌北洋ホールディングスの議決権比率につきましては、平成16年9月30日現在の議決権数をもとに算出してあります。

当社株価・売買高の推移 (2004.3~2005.2)



LUCKY

2005.2 第35期 事業報告書

株主メモ

決算期日	2月末日
定時株主総会	毎年5月
基準日	2月末日 そのほか臨時に必要な場合には、 あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	利益配当金2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	1,000株
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
(電話お問い合わせ先)	電話(03)3642-4004(大代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告のホームページ のご案内	当会社の決算公告は、貸借対照表及び損益計算書を当会社のホームページ(http://www.hokuyu-lucky.co.jp/)に掲載しております。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、年1回当社の「商品券」(5,000円相当)もしくは「北海道特産品」(5,000円相当)を贈呈いたします。

本事業報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみ全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本事業報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。